



第1回

勝山市まち・ひと・しごと創生

総合戦略会議

平成27年5月18日

未来創造課

2. 地方創生総合戦略概要について

長期ビジョン【2060年まで】

総合戦略【2019年度までの5か年】

国

中長期展望

I. 人口減少問題の克服
 ◎2060年に1億人程度の人口を確保

- ◆ **人口減少の歯止め**
 - ・国民の希望が実現した場合の出生率(国民希望出生率) = 1.8
- ◆ **「東京一極集中」の是正**

II. 成長力の確保
 ◎2050年代に実質GDP成長率 1.5~2%程度維持

基本目標

地方における安定した雇創出

- ◆ 若者雇用創出数(地方) 2020年までの5年間で30万人 等

地方への新しいひとの流れをつくる
 現代：東京圏年間10万人入超

- ◆ 地方・東京圏の転出入均衡(2020年)
 - ・地方→東京圏転入 6万人減
 - ・東京圏→地方転出 4万人増

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ 結婚希望実績指標 80%(2010年68%)
- ◆ 夫婦子ども数予定(2.12)実績指標 95%(2010年93%) 等

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ◆ 地域連携数など
- ※目標数値は地方版総合戦略を踏まえ設定

政策パッケージ

- 農林水産業の成長産業化 6次産業市場10兆円・就業者数5万人創出
- 訪日外国人旅行消費額3兆円へ(2013年14兆円)：雇創出8万人創出
- 地域の中核企業、中核企業候補1,000社支援・雇創出8万人創出
- 地方移住の推進：年間移住あっせん件数11,000件
- 企業の地方拠点強化：拠点強化件数7,500件、雇創出4万人増加
- 地方大学等活性化：自県大学進学率割合平均36%(2013年度32.9%)
- 若い世代の経済的安定：若者就業率78%(2013年度75.4%)
- 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援：支援ニーズの高い妊産婦への支援実施100%
- ワーク・ライフ・バランス実現：男性の育児休業取得率13%(2013年2.03%)
- 「小さな拠点」の形成：「小さな拠点」形成数
- 定住自立圏の形成促進：協定締結等圏域数(140圏域)
- 既存ストックのマネジメント：中古・リフォーム市場規模20兆円(2010年10兆円)

地方人口ビジョン【2060年までを基本】

地方版総合戦略【2019年度までの5か年】

都道府県・市町村

中長期展望

I. 人口の現状分析
 ・人口動向や将来人口推計の分析

II. 人口の将来展望
 ・目指すべき将来の方向性や施策の方向性を踏まえた人口の将来展望

基本目標(注1)と基本的方向(注2)

(注1)実現すべき成果(アウトカム)に係る数値目標を設定(定性目標の場合は客観的な指標を設定)
 (注2)目標達成のために講ずべき施策の方向を記載

地方における安定した雇創出

地方への新しいひとの流れをつくる

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

具体的な施策

※施策ごとに重要業績指標(KPI)を設定。

[Blank boxes for specific policies and KPIs]

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定 } 「地方人口ビジョン」
- ・行政と地域住民の意識共有 } 「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」: 人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」: 人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、
産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

<地方人口ビジョン>

- 人口の現状分析
- 人口の将来展望

<地方版総合戦略>

- 基本目標(成果目標)
- KPI(重要業績評価指標)

- 各分野の施策

人口ビジョンの策定

国の長期ビジョン(～2060年)を勘案しつつ、今後目指すべき将来の方向性、人口の将来展望を描く。

1. 現状分析

人口動向の分析

総人口、年齢3区分別、自然・社会的動態、人の流れ
過去から現在まで



2. 人口の将来展望

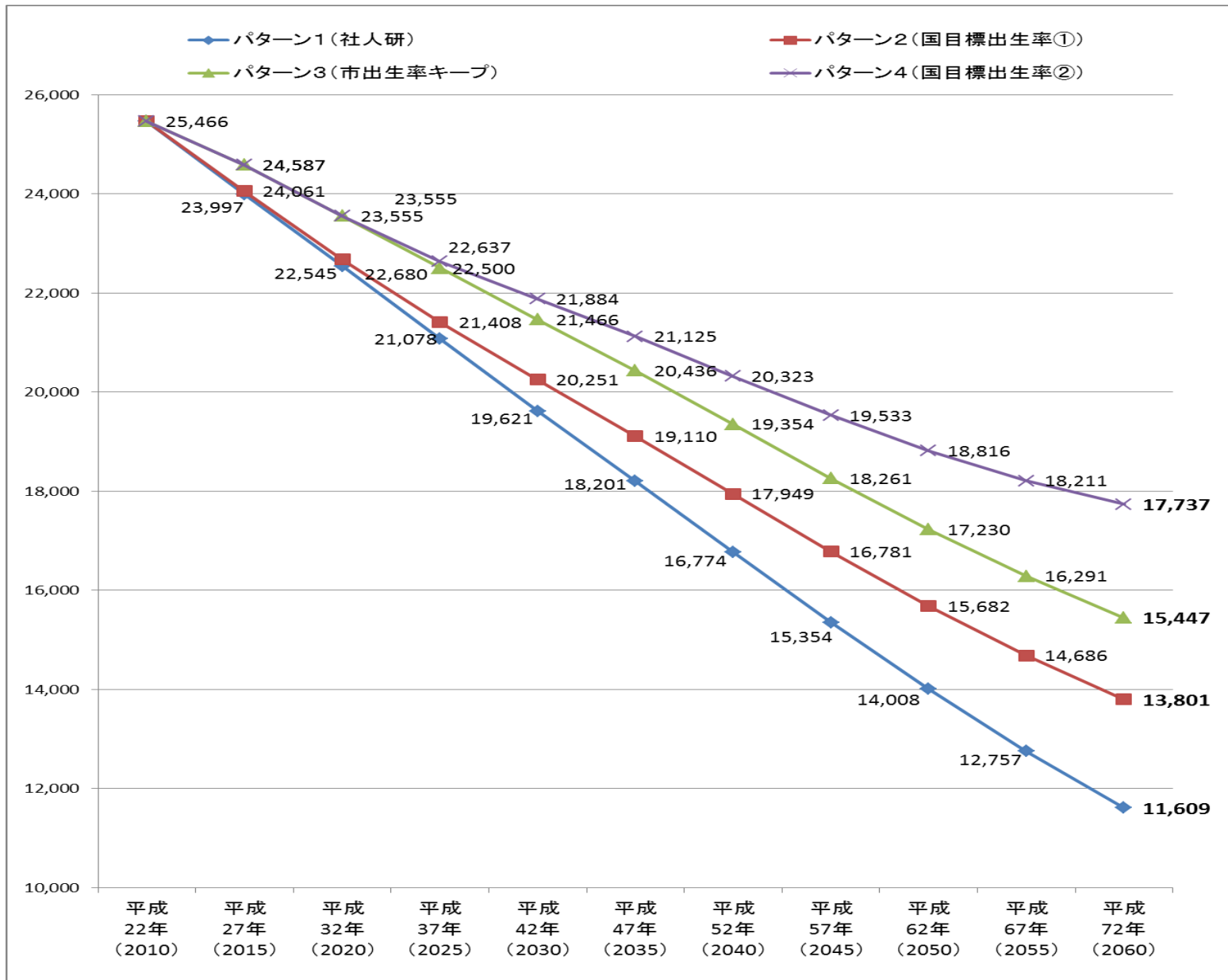
1. 目指すべき将来の方向・基本的政策の方向性

2. 人口将来展望

総人口、年齢3区分別人口の将来予測
人口シュミレーション



勝山市の人口推計(2060年まで)



3. 第5次勝山市総合計画概要について

・人口減少対策にかかる勝山市の取組状況

5年前に日本創成会議推計人口と同程度の人口減少を見込んでいた。

- ・第5次総合計画（平成23年策定）策定に際し、平成47年までの人口減少を見込んで、政策を構築し、現在推進している。

	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)
第5次 総合計画	25,497	23,927 <small>△1,570</small>	22,254 <small>△1,673</small>	20,568 <small>△1,686</small>	18,931 <small>△1,637</small>	17,329 <small>△1,602</small>	15,600 ?
日本 創成会議	25,466						15,541



H32将来人口を
推計人口を750人上回る23,000人と想定



4. 勝山市の考え方・策定の流れについて

- ・人口減少問題に取り組む基本的方向性

①出生率を上げる 将来の人口構造を変える

②転出者を減らし、転入者を増やす



・若い世代の就労・雇用創出、子育て、教育を支援する生活環境基盤の整備

・健康長寿、健康寿命の延伸



・第5次総合計画ベース「主な施策」策定

4つの基本目標



①第5次総合計画より 総合戦略として使えるもの
拡充・見直しするもの

②新しい施策(市民提案ほか)

①→未来創造課で抽出、政策原案策定後、意見聴取(市民・戦略会議等)、市民アンケートで事前評価・新規提案募集

②→最終的な施策の優先順位も決定



各施策に対し、数値目標(KPI)を設定
PDCAサイクル



・幅広い意見の聴取

①市民アンケート

- ・新規施策への意見聴取（施策の優先順位）
- ・市民提案も同時募集

②勝山市まち・ひと・しごと創生戦略会議立ち上げ

・**産官学金労言からの意見聴取**

産＝商工会議所、官＝ハローワーク

学＝福井大、福井工大、県立大

金＝北陸銀行、福井銀行、越前信用金庫

労＝連合福井、言＝福井新聞、日刊県民福井

③若者・女性の意見聴取

- ・女性ネットワーク、成人式実行委員会OB等と懇談会ほか



